

安全安心、心安らぐ 地域をみんなの力で。

「WITHコロナ」の時代
観光、サービス業のあり方とは？

藤澤 長いスパンで考えれば、域内だけで観光業を回すのには限界があると思います。やはり、よそから来てもらいお金を動かしてもらうことがどうしても必要で、感染予防対策と経済活動の両立は必要不可欠です。まずは、サービスを提供する側の私たちが感染しないことが大切です。私たちのホテルでは、朝礼で3安宣言を唱和するなど、従業員一人ひとりが意識するようにしています。一方で、お客さま自身にも感染対策を講じていただけるかという点は大きな問題です。私たちも、誰でも構わず来てほしいということではなくて、感染対策にご協力いただけるお客さまを選ぶという視点も必要だと考えています。

北林 飲食業の中には、「お客さまには来てほしいけど、感染者数が多い県外客には来てほしくない」という声もありました。やはり、迎え入れる側も不安は大きいと思います。どこまで対策できるものか、個々の店は悩みながら営業しています。また、市内では、少し緩みが出てきたのか、マスクの着用を守っていない人を見かけます。自身や安曇野の飲食店を守るためにも感染予防はしっかりとしてほしいと思います。

鶴飼 中には、持病があるなど、マスク着用が難しい方もいらっしゃると思います。人にうつさないことが絶対なので、熱や風邪症状がある場合などは人前に立たないなど、自己管理を必ず行ってほしいと思います。

北林 自分の店も掲載させてもらいましたが、常連さんだけでなく、今まで店に来たことがないお客さまもテークアウトを利用してくれるなど、新しい発見がありました。



北林智紀さん
食事処「美里」オーナーシェフ。県調理師会青年部長。ご当地グルメ「安曇野林檎ナポリタン」が全国入賞。



藤澤直樹さん
安曇野穂高ビューホテル支配人。安曇野での過ごし方を提案する「安曇野で暮らすように泊まる」実行委員会広報。



「コロナ禍において、地域一体となった経済活動の継続を目指す」「安曇野つなぐプロジェクト」。飲食業や観光業の最前線で働く皆さんに、「安曇野3安宣言」などの取り組み、テークアウトの可能性、市民の皆さんへのメッセージについてお聞きしました。(7月22日取材)

長いスパンで考えれば、
域内だけでは限界。



ホテル支配人（安曇野穂高ビューホテル）
藤澤 直樹 さん

迎え入れる側も
不安は大きいです。



飲食店経営（食事処美里）
北林 智紀 さん

一人ひとりの感染予防が
安曇野のお店を守ることにつながる

本日は、出来たてを提供できる店内で味わってほしいという想いもあります。テークアウトが新しい広告媒体になったと感じています。

藤澤 サイトで飲食店がまとめられたことで、行ってみようという動機が生まれた。知らないお店でも、テークアウトだったらそんなり入れる気がする。いききかけになったと思います。

出会ってないお店や
場所を巡るきっかけに。



北アルプスワークサイト運営
鶴飼 博将 さん



「安曇野3安宣言」
安全、安心のための感染防止対策と、安曇野ならではの心安らぐおもてなしを表明することで安曇野をPRする取り組み。

北林 感染者発生の記事が、翌日のお客さまの入り込みに響いてしまっていると感じています。お店で直接飲食を控えたいという方も、テークアウトを利用するなどして、家での料理だけでなく、お店の味も味わっていただけたら嬉しいですね。

藤澤 地域全体で感染拡大防止に努めていただき、マスク越しであっても笑顔あふれるまちとなることは、地域の大きな魅力につながってくると思います。安全、安心、安らぎを提供する「3安宣言」にご理解とご協力をお願いします。そして、安曇野のお宿やお店をぜひ応援していただけたらと思います。